

# あおもりヘルステックコンソーシアム事業報告会について

令和5年3月29日（水）青森市役所本庁舎1階にて「あおもりヘルステックコンソーシアム事業報告会」が開催されました。事業報告会の内容についてご紹介いたします。

## ■事業の概要

平成31年2月に青森市と（株）フィリップス・ジャパンは、青森市民の健康寿命延伸に向けた「ヘルステックを核とした健康まちづくりプロジェクト」をスタートする為、連携協定を締結しました。本プロジェクトは浪岡地区をモデル地区として事業に取り組んでいます。

<プロジェクトの概要>

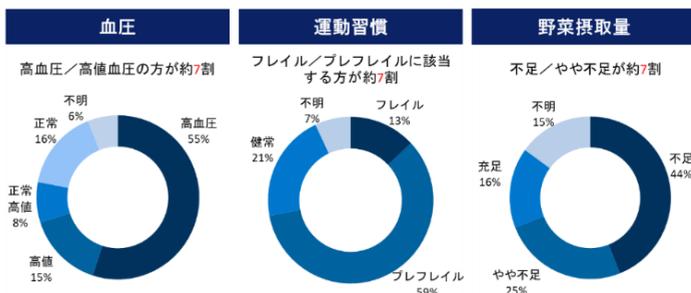
1. 最新のICTを活用し、健康課題解決を目指す“ヘルステックを核とした健康まちづくり”
2. 健康に関するデータを蓄積・分析する拠点とした“あおもりヘルステックセンター”の設置
3. 新しい事業モデルの推進体として、“あおもりヘルステックコンソーシアム”を設立

## ■事業報告会の内容

※青森市の当日の配布資料より一部抜粋

### 1. モビリティを活用した予防サービスについて

- ◎フレイル/生活習慣病予防として、高齢者や働き盛り世代に対し、簡易ヘルスチェックを提供。
- ◎モビリティの活用により地域の集会所、企業、大規模商業施設等、様々な場所で実施する。
- ◎浪岡地区の特定健診受診率のUPと市民の健康意識の向上を図る。
- ◎実績 令和2年度 8回、82名参加、令和3年度18回、228名参加  
令和4年度(2/1時点)16回、148名参加
- ◎令和4年度は、県立保健大学と浪岡中学校を舞台に、本サービスに係る共同研究を実施。



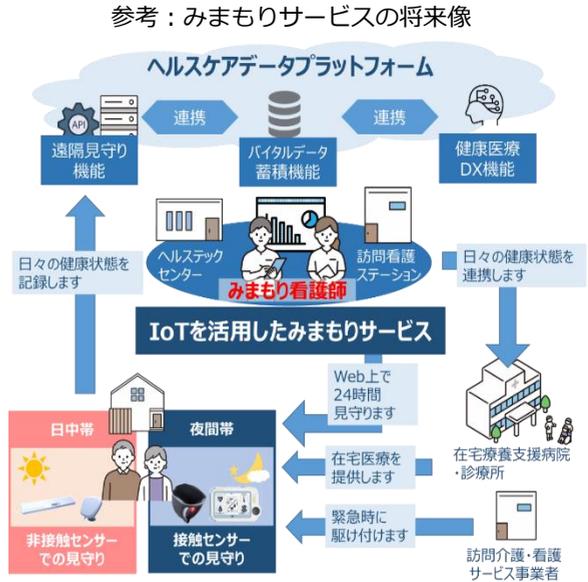
約7割の参加者が、高血圧、フレイル、野菜不足の状態

### 2. 認知機能低下を予測する実証実験

- ◎青森市内の55歳以上の世帯に電力センサーを設置し、各家電の使用状況をAIが分析することで認知機能低下疑いのある方を早期発見し、介護予防サービスや病院受診を促すことで、認知症発症の抑制を目指します。  
(※令和4年9月開始、2月時点で60名参加)

### 3. IoTを活用した見守りサービスについて

- ◎ 自宅での生活/生体データを活用した見守りに、24時間遠隔見守りを追加した新たな高齢者・在宅患者サポートモデル。
- ◎ 実績  
令和2年度：10名の自宅等に設置、  
令和3年度～令和4年度：15名の自宅等に設置



事業報告会の模様は下記URLよりご覧頂けます。  
青森市公式YouTube：<https://youtu.be/T2bPz8u0Lwg>

#### ■ 今後について

IoTを活用したみまもりサービスにおいては、当社が地元リーダー企業としてコンソーシアム企業の皆さまと共に取り組みをしています。

この度、新たなコンソーシアム企業として、京セラみらいエンビジョン株式会社様、三昌商事株式会社様、三栄メディス株式会社様を迎え入れ、新たな機能としてヘルスケアデータプラットフォームを整備中です。デジタルデータ化された患者情報の共有により、経過観察が可能となり、将来的には健康医療DXとして有効なサービスの実現を目指します。

コセキ株式会社は地元リーダー企業として、青森市およびコンソーシアム企業と協業し、IoTを活用したみまもりサービスの発展をこれからもサポートして参ります。

